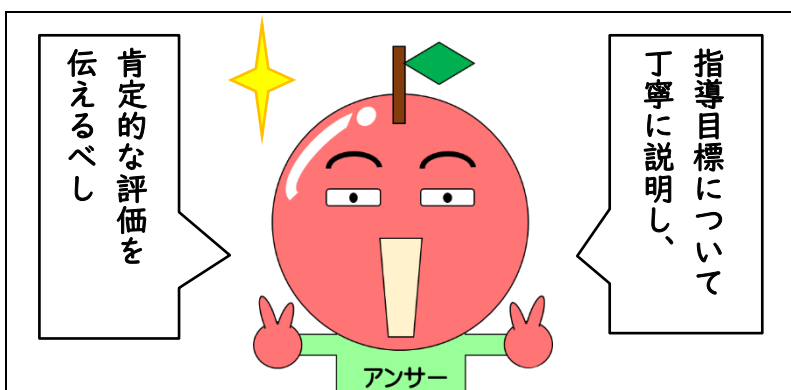
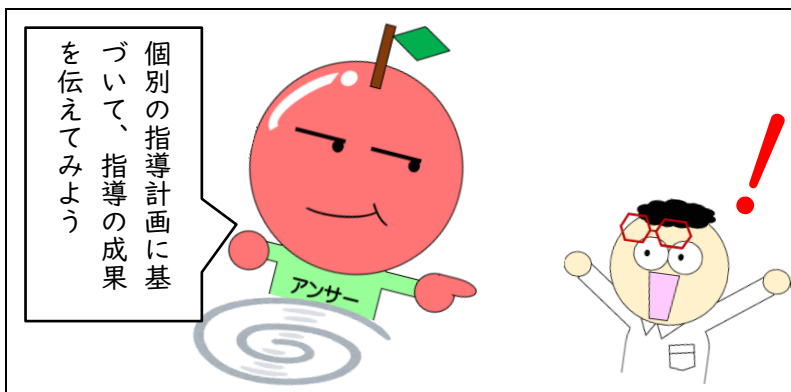
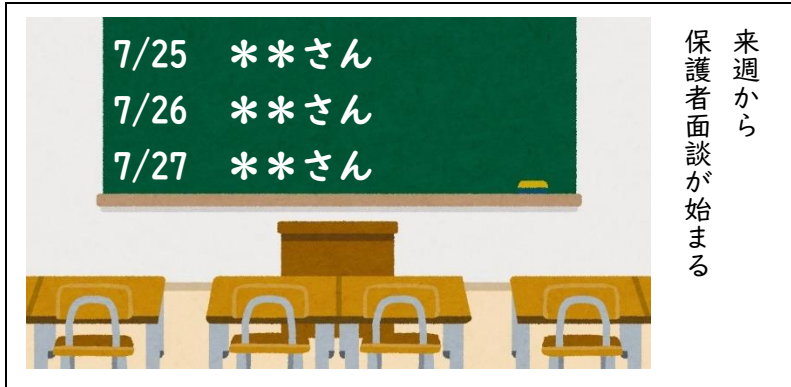


# Q29. 個別の指導計画の評価を保護者にどのように説明すればよいのでしょうか？



## 個別の指導計画の指導目標について丁寧に説明する

- 「なぜ、その指導目標を立てたのか」を説明します。
- 途中で指導目標や指導・支援の手立てを修正した場合、その理由も伝えます。

保護者面談では、子供の実態把握の結果を踏まえて、なぜその指導目標を立てたのかという根拠を分かりやすく説明することを心掛けましょう（計画の修正時も同様です）。それによって、学級担任が日頃から子供のことをよく観察していることが伝わり、指導目標に対する保護者の納得感も高まります。

また、面談の場だけではなく、保護者による登下校時の送迎の際や連絡帳、学級通信等、様々な機会を活用して、指導の経過について話題にすることが大切です。

## 肯定的な評価を伝える

- 保護者が子供の成長を感じられるよう、できるだけ肯定的な評価を伝えるようにします。
- 子供の課題については具体的にポイントを絞って説明します。そして、今指導していることや、これから指導したいと考えていることについて伝えましょう。

個別の指導計画の指導目標の達成状況について、できるだけ肯定的な視点で評価したことを保護者に伝えましょう。

### 評価の肯定的な視点（例）

- 以前はできなかったけれども、教師の支援があればできるようになったこと
- 教師の支援がなくても、自分でできるようになったこと
- 以前よりもよくできるようになったこと（正確性、頻度、継続性等）

これらは、いずれも、過去の子供個人（自分自身）と比較する個人内評価の視点です。このような視点で評価することが難しい場合、指導目標が子供の実態に合っていない可能性がありますので、すぐに指導目標の見直しを行いましょう。

また、指導目標には設定されていないものの、学校生活において課題になっていることは少なからずあるかと思います。それらについては、長々と説明するのではなく、具体的にポイントを絞って説明します。例えば、1～2つ程度エピソードを紹介した上で、課題となっている行動等の背景要因に関する見解を伝えます。そして、指導の方針を共通理解しておくことが重要です。

【文献】半澤嘉博 編著（2019）：中学校 学級担任のためのよくわかるインクルーシブ教育 課題解決 Q&A. 開隆堂。

### よく一緒に読まれている Q

- Q3 「各授業で1時間の具体的なねらいや課題の難易度をうまく設定できません。」
- Q16 「自立活動の指導の評価は、どのように書いたらよいか分かりません。」
- Q28 「個別の指導計画の評価がこれでよいのか不安です…。」

[目次に戻る](#)